

令和6年2月19日

保護者 様

長崎県立口加高等学校
校長 馬木 みどり
(公印省略)

保護者会（令和6年2月15日）について（ご報告）

立春の候 保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り、感謝いたします。

さて、去る2月14日に本校教職員が逮捕される事案が発生しました。これは、生徒や保護者の皆様、地域の方々の信頼や期待を裏切る行為であり、絶対に許すことはできません。校長として、監督責任を果たせなかったことについて深くお詫び申し上げます。

逮捕を受けて、翌朝2月15日の登校後すぐに全校集会を実施し生徒の様子を観察した後、校長から事案の報告と謝罪、スクールカウンセラーの講話を行いました。その後各クラスで、担任等による生徒との個人面談、さらに希望する生徒にはスクールカウンセラーによる面談を実施しました。

これからも生徒の心のケアを最優先し、生徒が落ち着いた日常生活を取り戻せるように、また、生徒や保護者の皆様、地域の方々の信頼を回復できるように職員が一丸となって対応してまいります。ご家庭におかれましてもお子様の様子で気になることがございましたら、学校へお知らせください。

2月15日に開催いたしました標記保護者会には、校長、教頭をはじめとする本校職員、県教委担当者、スクールカウンセラーが参加しました。内容について、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 本校の子供たちに対して、わいせつな行動や霊的な発言はなかったか。

- 生徒との面談では、そのような情報はありませんでした。また、これまでもそのような言動については把握していませんでした。

2. 授業に支障がないか。

- 県教委に依頼し教員が配置される見込みのため、授業に支障はありません。

3. 今後、カウンセリングが必要な生徒（卒業間近の3年生含む）への対応はどうか。

- スクールカウンセラーとの面談を希望される場合は対応します。担任、養護教諭、各主任等も面談に対応できますので、申し出てください。
- 県教委とも連絡を取りながら対応を進めていますので、ご不安やお気づきの点などあれば遠慮なくご連絡ください。

4. 高校名が特定されたことで、報道関係者が学校に来るのではないかと生徒が不安に感じている。今後の対応はどうか。

- 当該教諭のフルネームが発表されたため、高校名が特定され報道されました。登下校時には校門やバス停付近で教職員が見守りを行っています。現時点で報道関係者の来校や生徒への接触は確認できていませんが、我々の目の届かないところで生徒への接触の可能性があるので、全校集会の際に「感想等は言っても良い」「答えたくない場合は答える必要がない」「個人情報等プライバシーにかかわることは絶対に発言しない」の3点を生徒にお願いしました。なお、SNS等への書き込みについても注意喚起を行いました。

5. 卒業アルバムなどの写真はどうか。

- 卒業証書授与式要覧、卒業アルバム、生徒会誌「菖蒲」など可能な限りの対応を行います。

6. カウンセラーから保護者の皆様へ

- 今回は残念な事件が起こり、生徒の皆さんや保護者の皆様がどのような夜を過ごされたか心配していました。
- 事件が起こった時は心の変化があることは人間として当然の反応です。ずっと続くのではなくゆっくり回復していきますが、心の揺れ方には個人差があります。時間がたってから心が落ち着かなくなるなど、時間差があることもあります。
- 周りが集中して勉強しているように見え、自分だけがいつまでも回復できないように感じて一人で抱え込むこともあります。また、今回の事件が何年か前の体験や昔抱えた不安や嫌な気持ちなどと繋がり、昔を思い出して苦しい思いをすることもよくあることです。
- 保護者の皆さまには、家で話を聞く時にも無理に聞き出すのではなく、「話したくなったらいつでも聞くからね」などと聞く準備ができていることを伝えていただきたいと思います。
- 体に症状が出ることもあります。受診や手当をしてもらうことで「守られている」という安心感を与えることができます。
- これからも面談等対応しますので、心配なことがあったら遠慮なく声をかけてください。